

問18-2 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み

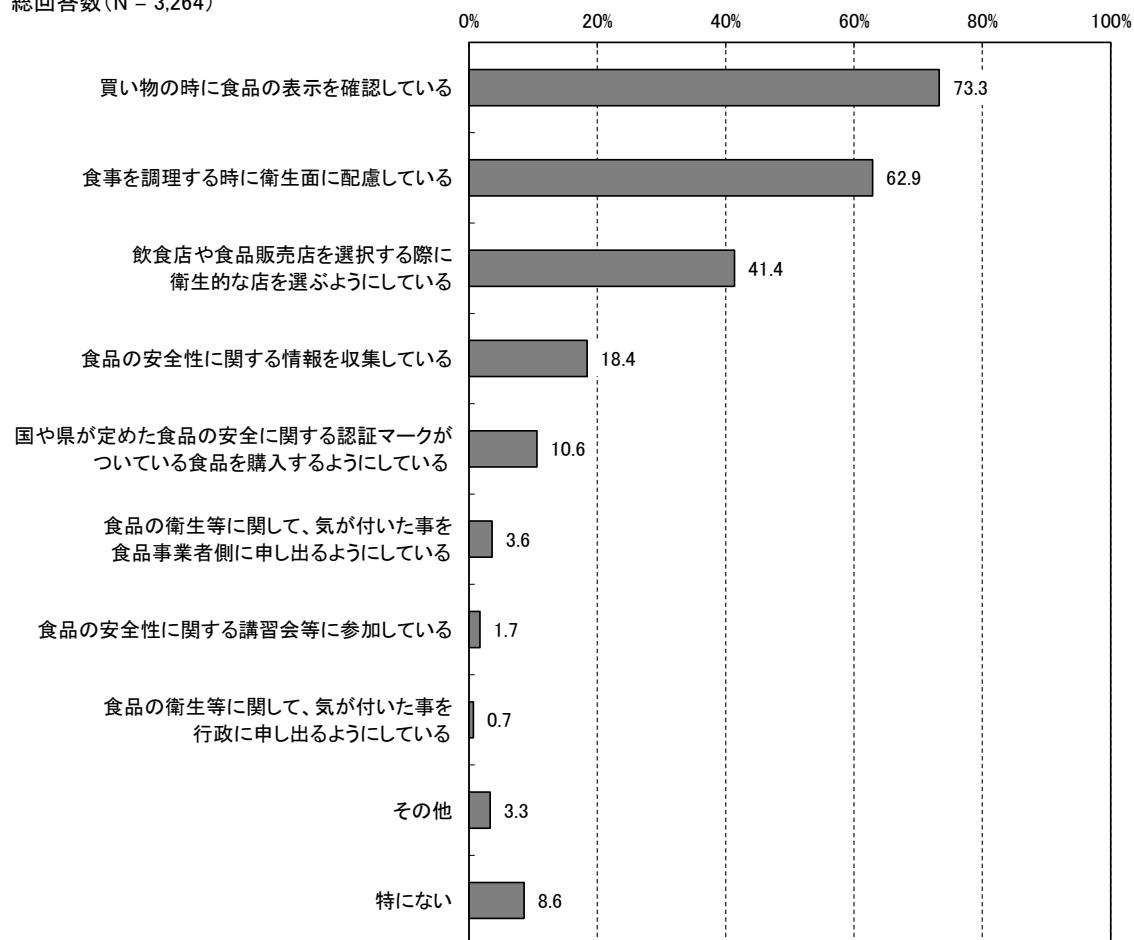
問18-2 あなたは、食品の安全性への不安に対応するため、どのようなことをしていますか。(いくつでも)

全体(図18-2-1)でみると、「買い物の時に食品の表示を確認している」が73.3%と最も高く、次いで「食事を調理する時に衛生面に配慮している」(62.9%)、「飲食店や食品販売店を選択する際に衛生的な店を選ぶようにしている」(41.4%)の順となっている。

図18-2-1 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み

回答者数(n = 1,436)

総回答数(N = 3,264)



※ 第39・40回調査では、「食品の安全性への不安に対する県民の取り組み」は聞いていない。

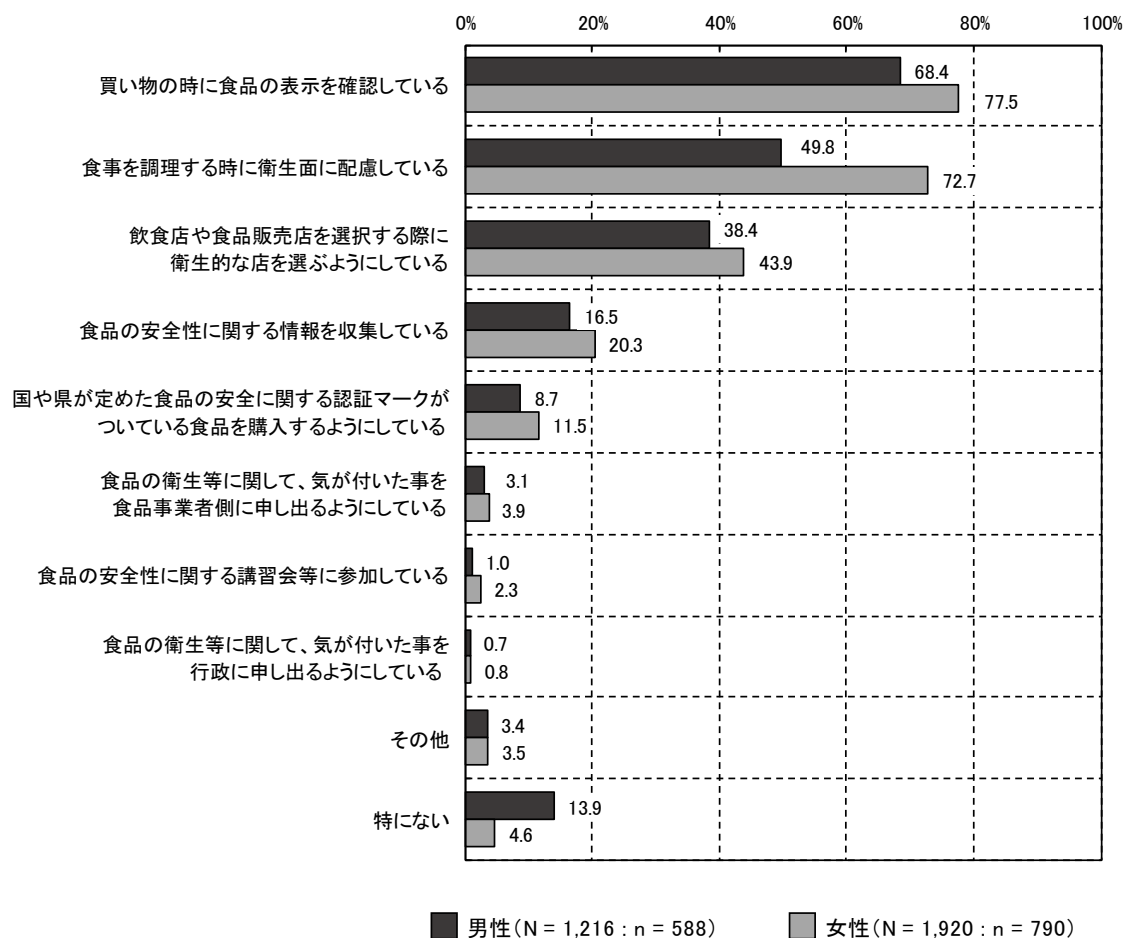
※ 本問における選択肢は、図表の構造上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・国や県が定めた食品の安全に関する認証マークがついている食品を購入するようにしている：HACCP※、特定保健用食品など

※ HACCP(ハサップ)：事業者が食中毒菌汚染等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品出荷までの全工程の中で、危害要因を除去低減させるために特に重要な工程を管理し、安全性を確保する衛生管理手法

性別（図 18-2-2）でみると、男女ともに「買い物の時に食品の表示を確認している」が最も高くなっており、次いで「食事を調理する時に衛生面に配慮している」、「飲食店や食品販売店を選択する際に衛生的な店を選ぶようにしている」の順となっている。

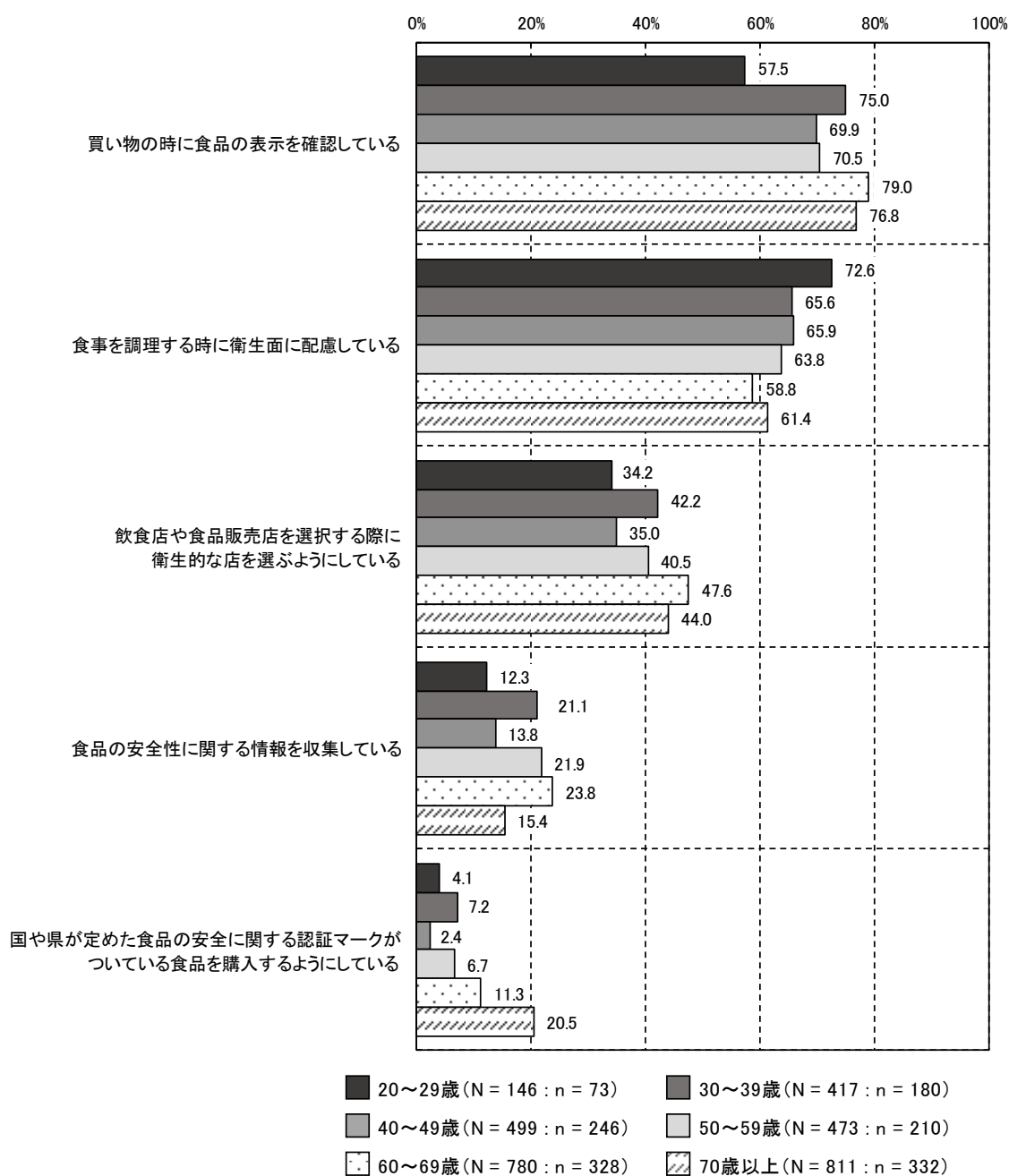
図 18-2-2 【性別】 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み



※ N＝総回答数 n＝回答者数

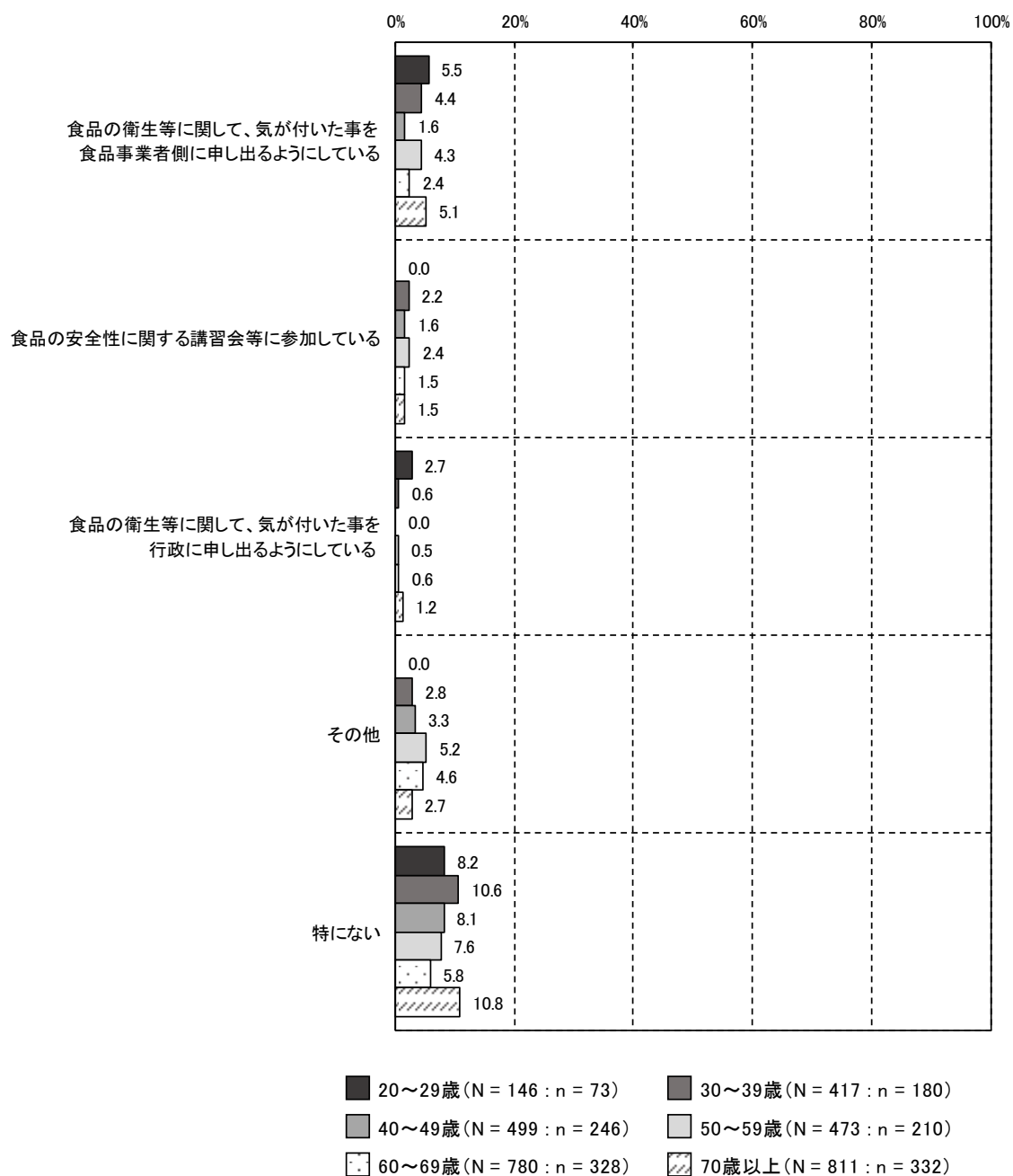
年代別（図 18-2-3）でみると、20 歳代を除くすべての年代で「買い物の時に食品の表示を確認している」が最も高く、そのうち 60 歳代が 79.0%と最も高くなっている。20 歳代では「食事を調理する時に衛生面に配慮している」が 72.6%と最も高くなっている。

図 18-2-3 【年代別】 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み



※ N＝総回答数 n＝回答者数

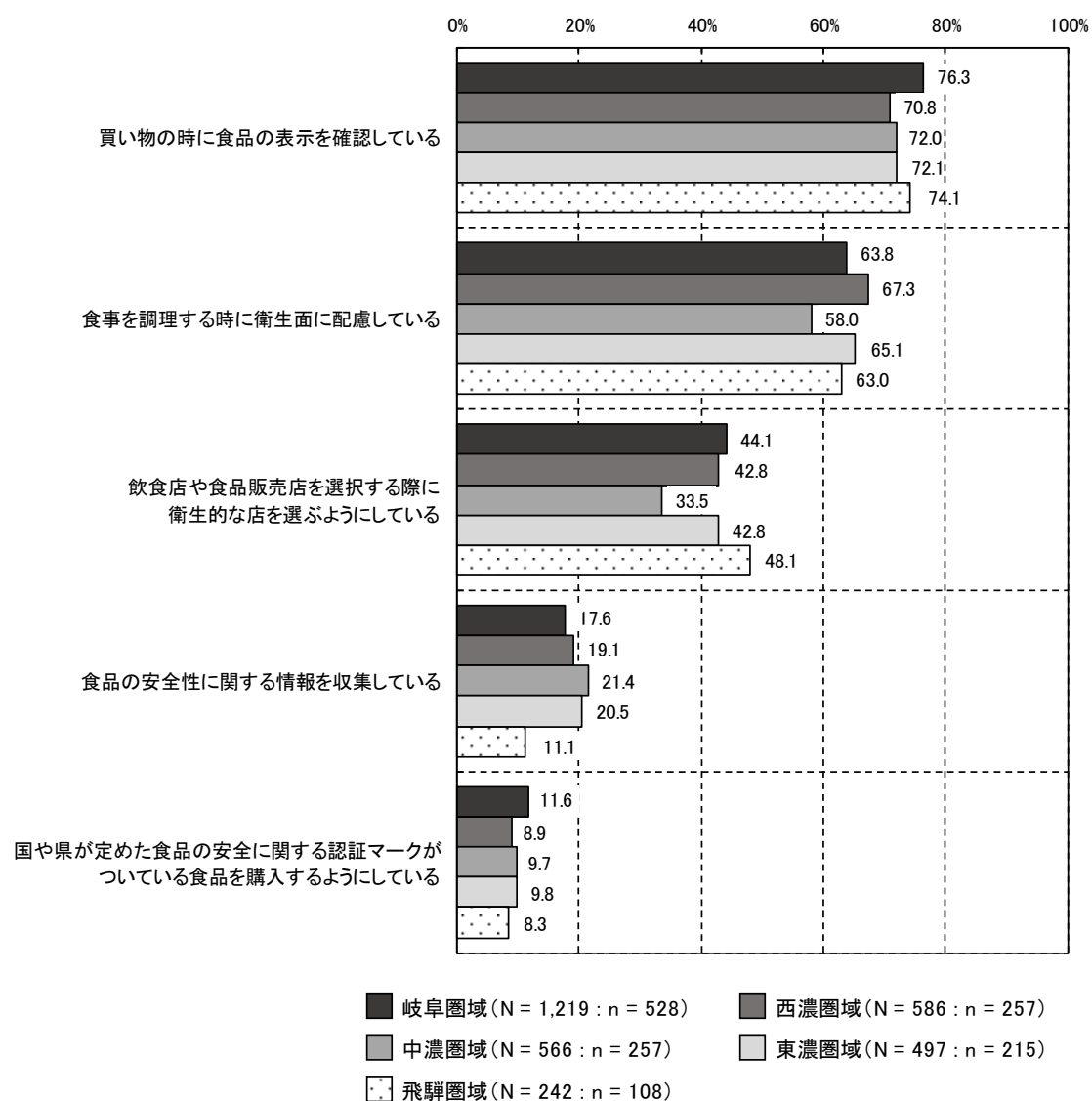
図 18-2-3 【年代別】 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

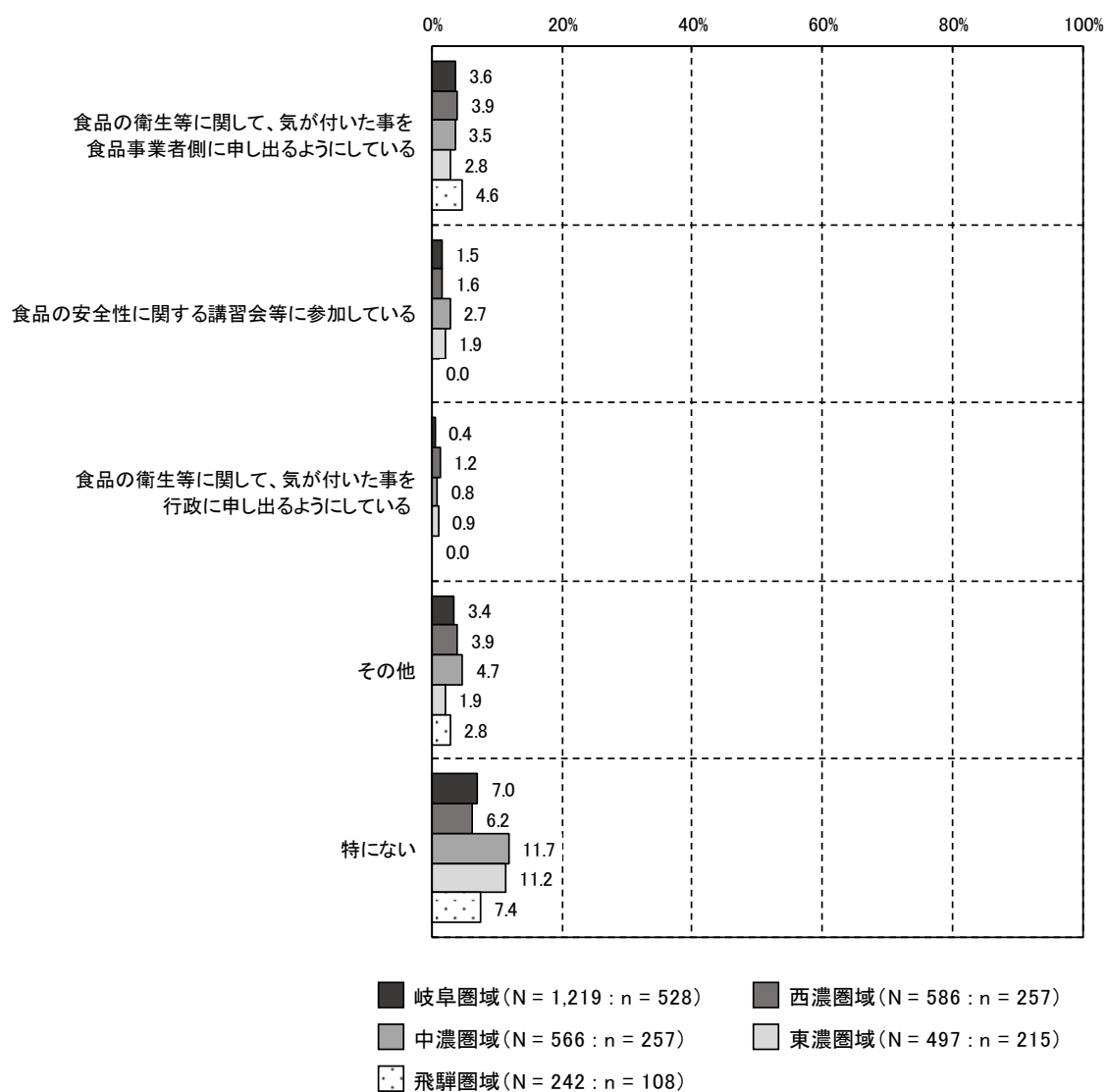
居住圏域別（図 18-2-4）でみると、いずれの居住圏域においても「買い物の時に食品の表示を確認している」が最も高く、そのうち岐阜圏域が 76.3%と最も高くなっている。

図 18-2-4 【居住圏域別】 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み



※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 18-2-4 【居住圏域別】 食品の安全性への不安に対する県民の取り組み（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数